

ヨシナカ新聞

9月号

発行所

株式会社ヨシナカ

東京営業所

TEL:03-3555-0796

掃除機のコードのテープ

掃除機のコードには黄色と赤色のテープが巻かれています。まずは黄色いテープが出てきます、これは、「ここまでコードを出して下さい」という意味なのだそうです。コードがあまり引き出されていないと、コードが熱くなり、長時間使用の場合には発火に繋がる事もあるのだそうです。

私は、黄色は「この辺で引き出すのはやめましょう」という意味かと思っていました。信号やサツカーの警告では黄色は赤へと変わる前のお知らせみたいなものだから、それなら他の色の方が良いと思うのですが・・・。赤色は予想通り「これ以上引き出したら断線等の故障の原因になりますよ」という意味でした。



SUS304を家庭用電気差し込みプラグに使っても大丈夫?

SUS304鋼は、機械的性質やプラグ端子の腐食変色防止の点から好ましいものの、電気的性質に重大な欠陥があります。

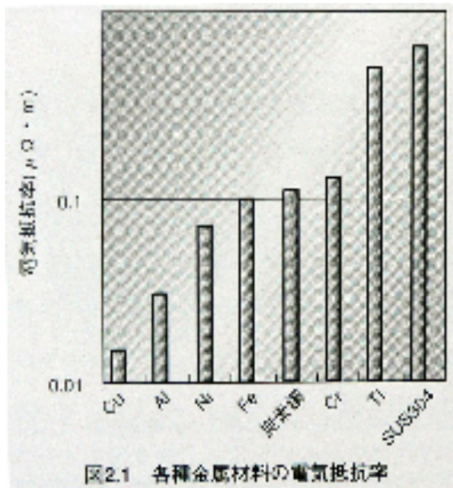
オーステナイト系ステンレス鋼304は純銅に比べ電気伝導度が非常に劣ります。その結果、接触点でジュール熱(抵抗に電流を流すと発生する熱)が発生しやすく、プラグの接触地点で発熱の障害に発展しやすいのです。

SUS304鋼の電機抵抗

率は、純銅のほぼ100倍でステンレス鋼の主構成元素である、Fe、Cr、Niのいずれに対しても一桁程度大きいのです。

こうした特性によりステンレス鋼を電機・電子部品として使用することは基本的に難しいと言えます。さらにステンレス鋼表面には高抵抗性の不動態被膜や酸化膜が存在するので、部品間の接触抵抗も大きくなりジュール熱が発生しがちになり

ます。(参考資料 『事例で探すステンレス鋼(工業調査会)』



た二人がウクレレを買ってしまったそうで、それ以来、フルートがメインだった音楽練習会はウクレレがメインの練習会に様変わりしてしまっただけです(笑)。

写真はK氏が購入したウクレレです。ウクレレにはソロ、コンサート、



テナー、バリトンの4種類があり、大きさが全て違います。K氏が購入したのは4種類のウクレレの中で一番小さなソロ・ウクレレで(このタイプが一番多く売れているそうです)、コロコロとしたとても可愛いくて優しい音色が出て、その音を聞くだけで癒されて、気が付くと一〜二時間弾き続けていることもあるそうです(やめられなくなるそうです)、すっからはまってしまった様です。

こう書きますと、なんとと忍耐力のないK氏だと思われま

すが、K氏以外に同じ練習会に参加している二人がウクレレを買ってしまったので、それ以来、フルートがメインだった音楽練習会はウクレレがメインの練習会に様変わりしてしまっただけです(笑)。

写真はK氏が購入したウクレレです。ウクレレにはソロ、コンサート、

ウクレレの原型は、1879年にポルトガル人がハワイに移住する際に持ち込んだ民族楽器『ブラギンニャ』だ

「何か他に聞こえますか?」との先生の質問に必死で耳をダンボにしますが、わかりません。「ベースが鳴っていますよね」、との事でもう一度音源を聴くと、なんと心臓の鼓動のような音が聞こえて来ました。それを先生に伝えると、それは太鼓の音がベースの音と同じリズムで同時に鳴っているのです。そう聞こえるんですよと仰つてその二つの音を設定して再現されます。

どうしてそんなところまで聞き取る事が出来るのか、先生は本当に凄い。推理小説の謎解きみたい。先生が名探偵コナンだとしたら、私は迷探偵コナン(困難)。それだけは間違いないと実感したのでした。

「何か他に聞こえますか?」との先生の質問に必死で耳をダンボにしますが、わかりません。「ベースが鳴っていますよね」、との事でもう一度音源を聴くと、なんと心臓の鼓動のような音が聞こえて来ました。それを先生に伝えると、それは太鼓の音がベースの音と同じリズムで同時に鳴っているのです。そう聞こえるんですよと仰つてその二つの音を設定して再現されます。

テナー、バリトンの4種類があり、大きさが全て違います。K氏が購入したのは4種類のウクレレの中で一番小さなソロ・ウクレレで(このタイプが一番多く売れているそうです)、コロコロとしたとても可愛いくて優しい音色が出て、その音を聞くだけで癒されて、気が付くと一〜二時間弾き続けていることもあるそうです(やめられなくなるそうです)、すっからはまってしまった様です。

ウクレレで癒されてみませんか?

現在、エレクトーン奮闘記を執筆中のK社員が2ヶ月程前にウクレレを買ったそうです。

テナー、バリトンの4種類があり、大きさが全て違います。K氏が購入したのは4種類のウクレレの中で一番小さなソロ・ウクレレで(このタイプが一番多く売れているそうです)、コロコロとしたとても可愛いくて優しい音色が出て、その音を聞くだけで癒されて、気が付くと一〜二時間弾き続けていることもあるそうです(やめられなくなるそうです)、すっからはまってしまった様です。

音源を聴いてそれを楽譜に書き写す『楽譜起こし作業』が続きます。ストリングスの音を聞き分けてコード(和音)弾きをしていく先生。それが原曲にソックリで、驚きと喜びが同時にやって来ます。

K社員のエレクトーン奮闘記